

画像認識AIによる牛の行動分析と状態推定

取組企業

企業名	株式会社ヒューマンサポートテクノロジー
担当者	代表取締役 小野 浩二
TEL:	
企業HPアドレス:	http://hstec.jp

共同研究の相手

米国ノースカロライナ州立大学	計算機科学科
担当者	教授 松田昇
TEL:	
研究室HP:	https://people.engr.ncsu.edu/nmatsud/

<背景>

大規模畜産業者より、導入しやすい価格で、牛の分娩・発情を早期に精度よく発見できるシステム開発の相談を受けた。本システムを開発することにより、発情の早期発見による受胎率の向上につながり、分娩の発見による出産時の事故を防ぐことができるため、畜産現場の生産性向上に寄与することができる。

なお、これらの徴候を発見するためには、牛のバイタルサインを「見える化」できる技術開発が必要とされる。

<研究開発プロセス>

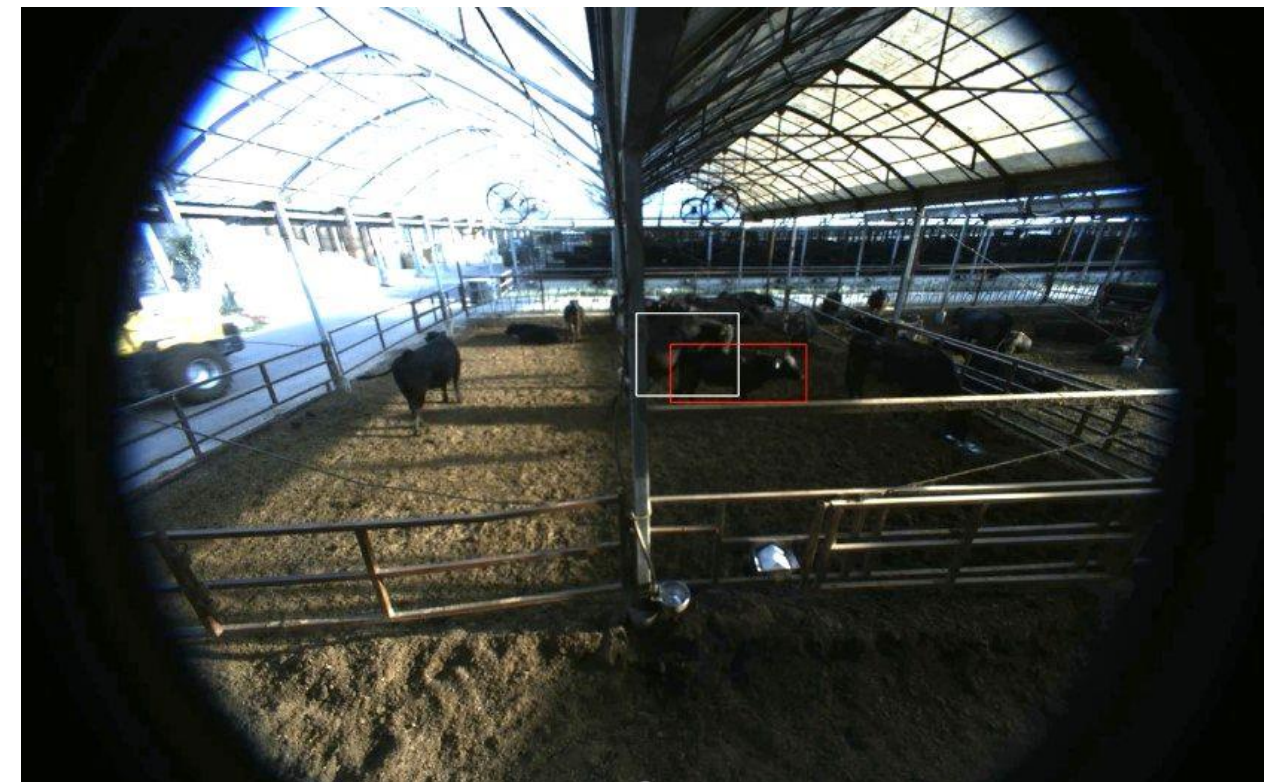
- ①牧場にカメラを設置
- ②牛の認識、解析用AIソフトウェアの開発
- ③牧場スタッフへのヒアリング
- ④評価

<共同研究機関との取組み>

ノースカロライナ州立大学では、異常検出理論を応用し通常とは異なる牛の動作を検出する技術を開発した。

<研究開発結果>

映像から乗駕動作を検出できるようになった。今後は、病気の牛、起立困難牛を検出できるように応用していく予定。



2021年12月21日(火)茨城新聞に掲載